



平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会社名 東 芝 機 械 株 式 会 社  
代表者名 取 締 役 社 長 三 上 高 弘  
(コード番号 6 1 0 4 東証第 1 部)  
問合せ先 総務部長 富永 聡  
(TEL 0 5 5 - 9 2 6 - 5 1 4 1)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値の差異

および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 9 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想における予想値と本日公表の決算における実績値に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値と実績値の差異

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	66,000	2,800	3,100	2,400	99 円 43 銭
実 績 値 ( B )	59,450	1,619	2,701	1,933	80 円 13 銭
増 減 額 ( B - A )	△6,550	△1,181	△399	△467	
増 減 率 (%)	△9.9%	△42.2%	△12.9%	△19.4%	
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	56,110	1,762	3,847	2,807	116 円 31 銭

(注) 当社は、平成 30 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1 株当たり四半期純利益につきましては、前期および今期ともに当該株式併合の影響を考慮して算定しております。

2. 平成 31 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	135,000	6,900	7,700	5,700	236円16銭
今回修正予想（B）	122,000	4,000	5,400	4,000	165円73銭
増減額（B－A）	△13,000	△2,900	△2,300	△1,700	
増減率（％）	△9.6%	△42.0%	△29.9%	△29.8%	
（ご参考） 前期実績（平成 30 年 3 月期）	116,862	4,640	6,982	5,016	207円83銭

（注）当社は、平成 30 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1 株当たり当期純利益につきましては、前期および今期ともに当該株式併合の影響を考慮して算定しております。

3. 差異および業績予想修正の理由

第 2 四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は、海外の通商政策の影響および一部の大型製品の販売時期調整による売上規模の減少などを受けて、前回予想を下回りました。利益は、売上規模の減少、部材価格高騰に伴う原価率の悪化、部材の調達遅れによる生産効率の悪化などを受けて、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前回予想を下回りました。

通期の連結業績予想につきましては、部材の調達遅れによる生産効率の悪化は回復傾向にあるものの、一部の大型製品の販売見通しなどを勘案して、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ前回予想を下回る見込みであります。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1US ドル 108 円としております。

（注）上記の業績予想等は、本資料の作成時点における経済環境や入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上